

経営比較分析表（令和元年度決算）

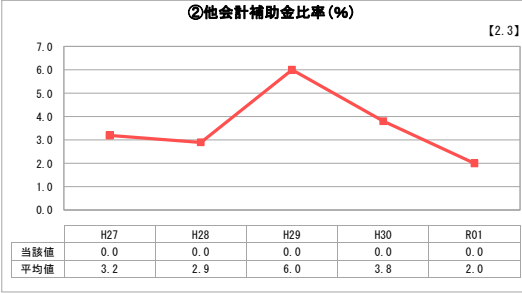
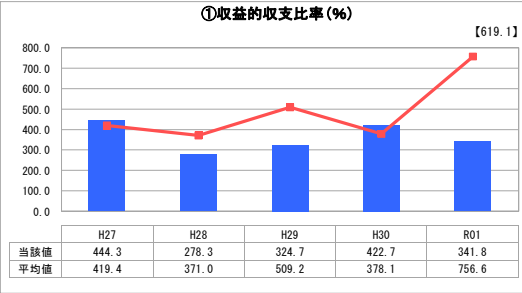
埼玉県秩父市 三峰駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 3 B 1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	その他駐車場	広場式	13	

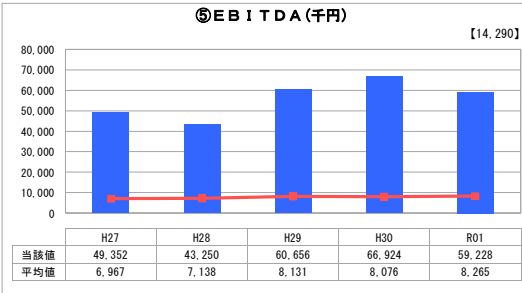
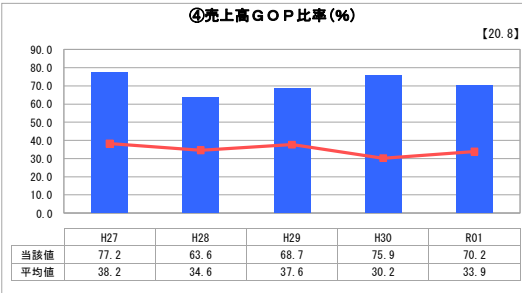
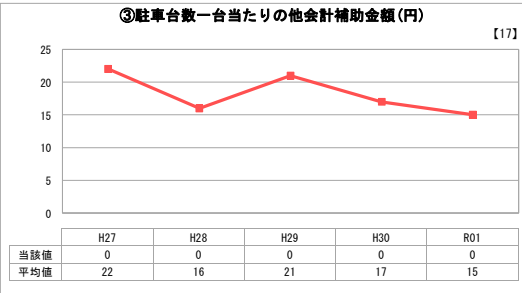
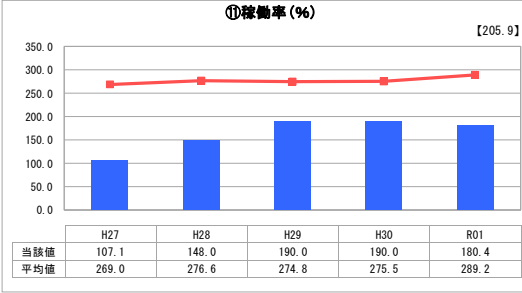
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(㎡)
商業施設	無	9,086
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
250	1,570	導入なし

グラフ凡例
■ 当該施設値（当該値）
— 類似施設平均値（平均値）
【】 令和元年度全国平均

1. 収益等の状況



3. 利用の状況



分析欄

1. 収益等の状況について

①収益的収支比率については、100%を超えており、健全性は十分に確保されていると考えられる。

②他会計補助金比率、③駐車台数一台当たりの他会計補助金は、当施設は他会計補助金を繰り入れていないため0である。

④売上高GOP比率については、当施設は類似施設平均を超え、施設の営業に関する収益性は高いと判断できる。

⑤EBITDA（減価償却前営業利益）については、当施設は類似施設平均より高いことにより、本業の収益性は高いと判断できる。

近年、平日でも三峯神社参拝者や登山者が多く、駐車場利用者が増え、料金収入が伸びている。

2. 資産等の状況について

⑥有形固定資産減価償却率については、当施設は地方公営企業法非適用事業であるため指標は算出されません。

⑦敷地の地価については、固定資産台帳によるものです。

⑧設備投資見込額については、今後10年間で、駐車場整備等を見込んでいる。

⑨累積欠損金比率は、当施設については地方公営企業法非適用事業であるため指標は算出されません。

⑩企業債残高対料金収入比率については、当施設は、企業債残高が無いため指標は算出されません。

3. 利用の状況について

①稼働率については、当施設は類似施設平均値を下回っているが、略横這いとなっている。

当施設の設置している三峰地区については、当施設以外の駐車場施設が皆無であり、需要はあると考えられる。

近年、平日でも三峯神社参拝者や登山者が多く、駐車場利用者が増え、料金収入が伸びている。

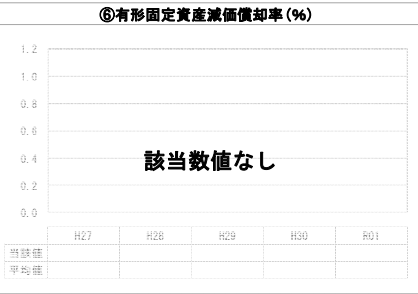
全体総括

当施設については、三峰地区に昭和62年県道の編入に伴い、駐車場施設を旧大滝村当時（現秩父市）が譲り受け、村営駐車場（現市営）として管理運営を行っている。

収益の状況については、独立採算により運営されており、利用状況も施設の稼働率も、略横這いとなっている。

施設の管理や適正規模、抜本的な改革について、今後更に検討していく。

2. 資産等の状況



⑦敷地の地価(千円)
28,348
⑧設備投資見込額(千円)
10,000

